

全県500歳野球大会

会場案内図

vol.2 (平成24年5月31日作成)

500歳野球の歴史をひもとく

500歳野球のきっかけとなったのは、昭和53(1978)年に行われたある野球の紅白試合。県野球協会会長をつとめていた、故高橋政泰氏の提唱により、実戦に参加する機会がなく観戦だけに終わっている50歳以上のOB達が集まり、熱戦を繰り広げました。

翌54年6月、「神宮寺嶽クラブ」の新調のユニフォームを着用した28名は再び紅白試合を行い、さらに7月1日には町内外の反響の大きさに力を得て「第1回大曲仙北500歳野球大会」を開きました。これら二度の紅白試合と都市大会を行い、自信をつけた選手の間から「今度は全県大会を開催したら」との声が上がり、同年10月20日、秋田魁新報社が主催となり、少年野球発祥の地と言われる旧神岡町の主管で、記念すべき「第1回全県500歳野球大会」が行われたのです。



俺たちの甲子園!



大仙の里で
プレイボール!

